



学校だより No. 3
青森市立佃小学校
令和4年5月31日発行
◆教育目標◆

全校児童数461名
男子 225名
女子 236名

あかるく・かしこく・たくましく

最後まで団結 最高の運動会

校長 山田 彰利

2年ぶりの運動会、低・中・高のブロック毎の実施だったり、人数制限付きだったり、観覧者の入替だったり、保護者の皆様にはご不便をおかけする中での開催でした。ご協力に改めて感謝申し上げます。

標題は子供たちが考えた今年の運動会のスローガンです。閉会式でも触れさせてもらいましたが、本部席で見えても、友達を励ましたり、慰めたりする姿を幾度も目にしましたし、そうした声もたくさん聞かれました。

こんな話も耳にしました。ある学年の団体競技で、練習を始めた当初は、失敗すると仲間からミスを攻める声が上がっていた、でも、協力し合わなければ、そして気持ちを合わせなければよい成績が残せないことに、徐々に気付いていったのか、次第に仲間を励ます声が増えていき、失敗しても励ませるようになった、と。仲間と力を合わせて一つのことを成し遂げる尊さに気付くことができたのですね。教室の勉強だけではなかなか味わうことができない、貴重に体験だと思います。運動会は当日だけではないのだ、ということを感じた逸話でした。こうした経験をした子供たちがこれからの学校生活でどんな姿を見せてくれるのか、楽しみにしたいと思います。



読書をするとうちがよくなる・・・？

ちょっと古い話で恐縮ですが、4月23日は「子ども読書の日」と定められており、先日の全校朝会では、これにちなんで、読書の効果について話しました。読書には読書そのものの楽しさの他に、以下の効果が確認されているそうです。

- 集中力が増し、その持続時間が長くなる。
- 物事を多面的に考える力、論理的な思考力が育まれる。
- 共感する力やコミュニケーション力がアップする。
- 脳の働きが活性化する。
- 心をリラックスさせ、短時間でストレスが解消する。



休み時間、図書室に足を運びますと、本の貸出や返却に長蛇の列が出来ていることがあります。佃小の子、本好きの子が多いように感じています。6月には、市民図書館の移動図書館も本校にやって参ります。本に触れ合う機会を大切にしていきたいと思っています。